

調査報告書

- 1 とき：2011年8月9日
- 2 行先：ゆとりーとライン
- 3 参加者：わしの恵子、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容
 - ・ ゆとりーとライン大曾根⇔中志段味の調査を行った。
 - ① 大曾根 15:30 発 ⇒小幡緑地 15:45 着（高架 6.5 kmバス停 9ヶ所）
 - ② 小幡緑地 15:45 発⇒中志段味 16:01 着（一般道 5.1 kmバス停 13ヶ所）
（帰路は小幡緑地で途中下車したが、往復同時間だった）

①の高架部分は見晴らしがよく、快適だった。

川宮・川村のトイレは、近くのコンビニに協力してもらい使用させてもらっているが、白沢溪谷だけはトイレがない。

むろん②の一般道のバス停にはトイレがない。

- ③ の部分は、昼間の時間帯ということもあり、交通量がとても少なかった。信号のつながりも良く快適だった。乗車率は乗客全員が座っていた状態。〈5.1 kmバス停 13ヶ所〉は、バス停が細かく設置されているので（バス停間の距離が平均約 400m）、利用者にはとても便利ではないかと思った。この竜泉寺街道は、アップダウンのキツイ道路なので、もし高架にしてバス停間の距離が長くなった場合、お年寄りや体の不自由な方には不便になるのでは？と感じた。炎天下でのバス待ちは非常に辛かった。スペースの問題があるのかもしれないが、屋根のないバス停には、屋根をつけた方がよいと思った。

- ・ 朝のラッシュ改善策として全線高架は効果的だと思うが、多額の予算がかかることなので余裕が出来てから行うべきではないか。
- ・ 今は、震災救援・福祉改善など緊急性のあることに予算を優先させ、ゆとりーとラインは予算をかけずに改善できないだろうか？
- ・ 本数を増やす、ラッシュ時だけバス停車数を減らした便（バスの急行）を増加する等、いろいろ試すべきだと思う。
- ・ 料金は市バスと2本立て料金なので高額になる。全線高架にしたら利用料はかなり下がるが赤字が増える。

行き 大曾根⇒中志段味 420 円
帰り 中志段味⇒小幡緑地 200 円
小幡緑地⇒大曾根 240 円

- 住民の意見を広く聞き、話し合い対応すべきことだと思いました。
- 全線高架の工事代は 300 億円
- 平面での満員による見送りは調査しなかった
- 高架部は朝 1～2 分おきのダイヤ